

- 問1 19世紀半ば、大国であった清がイギリスとの戦争に敗れたという情報が日本に伝わり、江戸幕府は大きな衝撃を受けました。この「アヘン戦争」の結果を受けて、幕府がそれまでの強硬な対外政策を転換して出した、外国船に燃料や水を与えることを認める方針を何とといいますか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 天保の薪水給与令
 2. 異国船打払令
 3. 日米和親条約
 4. 寛政の改革
- 問2 十九世紀半ばのアジア情勢と、当時の日本の対応について説明した文として、最も適切なものを選択してください。
(2021年 奈良公立入試 類似)
1. イギリスが清を破ったアヘン戦争の結果を知った江戸幕府は、異国船打払令を改めて薪水給与令を出した。
 2. 清がイギリスに勝利したことを受け、江戸幕府は鎖国体制が盤石であることを確認し、対外強硬策をさらに強めた。
 3. アヘン戦争での清の敗北をきっかけに、江戸幕府は直ちにアメリカと日米修好通商条約を締結した。
 4. イギリス軍の日本上陸を恐れた幕府は、異国船打払令を徹底させ、沿岸部の砲台を大幅に増設した。
- 問3 幕末に日本へ来航したペリーの艦隊は、産業革命によって生み出された蒸気機関を搭載していました。この技術革新が航海に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 奈良公立入試 類似)
1. 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。
 2. 石油を燃料とすることで、石炭を積むスペースを削減し、船体の小型化に成功した。
 3. 電気モーターを利用することで、騒音を抑えて日本近海へ隠密に接近することが可能になった。
 4. 帆をすべて廃止したことで、船体の重心が安定し、嵐の中でも沈没しない船が完成した。
- 問4 1858年から1876年にかけての世界の情勢において、ドイツ（プロイセン）で起こった出来事として適切なものはどれですか。
(2021年 歴史公立入試 類似)
1. プロイセンが普仏戦争でフランスを破り、パリ近郊のベルサイユ宮殿でドイツ帝国の成立を宣言した。
 2. ビスマルクが国際連盟の設立を提唱し、ヨーロッパ全域の平和維持活動を主導した。
 3. ナポレオンによるドイツ支配に対する反抗として、民衆が各地で武装蜂起し共和制のドイツが成立した。
 4. ルターによる宗教改革が発端となり、神聖ローマ帝国から離脱した諸領邦がプロイセンを中心にまとまった。
- 問5 日米修好通商条約などの不平等条約を改正することは、明治政府にとって長年の悲願でした。このうち、1911年に外務大臣・小村寿太郎が交渉にあたり、完全に回復することに成功した権利はどれですか。
(2018年 三重公立入試 類似)
1. 関税自主権
 2. 領事裁判権
 3. 参政権
 4. 排他的経済水域の管轄権
- 問6 江戸時代末期、それまでの鎖国体制を揺るがす出来事が相次ぎました。1853年にアメリカ大統領の親書を携えて浦賀に来航し、翌年に幕府と日米和親条約を締結して日本を開国させた人物は誰か、適切な人名を選びなさい。
(2020年 静岡公立入試 類似)
1. ペリー
 2. ハリス
 3. ラクスマン
 4. レザノフ
- 問7 大老の井伊直弼が、日米修好通商条約を独断で調印したことによって生じた国内の政治的動静について、最も適切な説明を次の中から選びなさい。
(2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 幕府の権威が回復し、諸藩の統制が強まった。
 2. 反対派の志士や大名を処罰する安政の大獄が行われ、幕府への不満が高まった。
 3. 阿部正弘を中心に公武合体が進み、政治が安定した。
 4. 全国の港で外国船を打ち払う運動が公式に許可された。
- 問8 1840年に始まったアヘン戦争で、清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、それまでの対外政策の変更を迫られました。1842年に幕府が新たに出した方針の内容として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 愛媛公立入試 類似)
1. 異国船打払令をさらに強化し、沿岸の砲台を増設して防衛を固めた。
 2. 来航した外国船に対し、人道的な見地から燃料や水、食料を与えて退去させることとした。
 3. 長崎に加えて横浜と函館を即座に開港し、イギリスとの自由な貿易を開始した。
 4. キリスト教の布教を正式に認め、欧米の宣教師が国内で活動することを許可した。
- 問9 1853年にペリーが浦賀（神奈川県）に来航した翌年の1854年、江戸幕府がアメリカと結び、長年続いた鎖国体制を事実上終結させた条約の名称と、その条約で開港された場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2024年 徳島公立入試 類似)
1. 日米和親条約に基づき、下田（静岡県）と箱館（北海道）が開かれた。
 2. 日米和親条約に基づき、長崎（長崎県）と下田（静岡県）が開かれた。
 3. 日米修好通商条約に基づき、下田（静岡県）と箱館（北海道）が開かれた。
 4. 日米修好通商条約に基づき、横浜（神奈川県）や長崎（長崎県）など5港が開かれた。
- 問10 江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して外国船を排除していましたが、その後、清（中国）がイギリスに敗北したアヘン戦争の結果を知ると、その方針を大きく転換させました。このとき幕府が取った対応として、最も適切な説明を選択してください。
(2023年 山口公立入試 類似)
1. 遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した。
 2. アメリカと日米和親条約を締結し、直ちに下田と箱館の2港を開港した。
 3. 鎖国を完全に廃止し、キリスト教の布教を含む全ての交流を自由化した。
 4. 異国船打払令をさらに強化し、沿岸部での軍事演習を全国で義務付けた。
- 問11 幕末の政治動向において、江戸幕府が「公武合体」の政策を推進した主な理由として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 和歌山公立入試 類似)
1. 開国や大老の暗殺によって揺らいだ幕府の権威を、朝廷と結びつくことで補強し、政治の安定を図るため。
 2. 朝廷を政治の実権から完全に排除し、幕府が単独で外国勢力を排除する攘夷の体制を整えるため。
 3. 天皇を中心とする新しい政治体制へ移行するため、幕府が自ら政権を朝廷へ返上する準備を行うため。
 4. 薩摩藩や長州藩などの有力な藩の勢力を抑えるために、朝廷を武力で威圧し幕府の命令に従わせるため。
- 問12 1858年から1867年にかけての日本の経済状況において、米や塩などの物価推移を示す統計資料では、1860年代半ばから価格が急激に上昇していることが確認できます。この要因となった「万延小判」に関する記述として最も適切なものはどれですか。
(2022年 三重公立入試 類似)
1. 金銀の交換比率の差による金の流出を食い止めるため、それまでの小判よりも金の含有量を大幅に少なくした貨幣である。
 2. 海外との貿易を有利に進めるため、欧米の貨幣と同じ金の含有量に設定して発行された貨幣である。
 3. 国内の産業を育成する資金とするため、幕府が日本で初めて発行した紙幣のことである。
 4. 物価の上昇を抑えるために、幕府が貨幣の質を高めて流通量を制限した貨幣である。
- 問13 1853年に浦賀へ来航したアメリカのペリーが、翌1854年に再び来航した際、江戸幕府との間で締結した条約の名称として正しいものを選択してください。
(2020年 山口公立入試 類似)
1. 日米和親条約
 2. 日米修好通商条約
 3. 日米地位協定
 4. 日米安全保障条約

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天保の薪水給与令	アヘン戦争において、近代的な軍事力を持つイギリスに清が敗北した事実は、オランダなどを通じて江戸幕府に伝えられました。これを受けた幕府は、従来の「異国船打払令（無二念打払令）」をそのまま継続して外国船を攻撃し続けることは、日本にとっても危険であると判断しました。その結果、1842年に方針を和らげ、漂着した外国船に対して薪や水、食料を供給して帰すことを認める「天保の薪水給与令」を出しました。
問2	答え 1 イギリスが清を破ったアヘン戦争の結果を知った江戸幕府は、異国船打払令を改めて薪水給与令を出した。	老中の水野忠邦は、清がイギリスに敗北した事実を重く受け止めました。これまでの「異国船を見つけ次第攻撃する」という異国船打払令を継続することは、イギリスなどの列強を刺激し、日本が清と同じような事態に陥る危険があると判断したため、燃料や水を与える薪水給与令へと転換しました。
問3	答え 1 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。	蒸気機関による動力の確保は、従来の帆船が抱えていた「風がなければ進めない」「逆風では目的地へ向かうのが困難」という制約を打ち破りました。これにより、軍事的な機動力や貿易の効率が劇的に向上しました。なお、燃料が石炭から石油へと移行するのは19世紀末から20世紀にかけてのことであり、幕末当時は石炭が主要な燃料でした。
問4	答え 1 プロイセンが普仏戦争でフランスを破り、パリ近郊のベルサイユ宮殿でドイツ帝国の成立を宣言した。	1870年に始まった普仏戦争において、プロイセンはナポレオン3世率いるフランスに勝利しました。この勝利を背景に、1871年、プロイセン王ヴィルヘルム1世がベルサイユ宮殿で初代ドイツ皇帝として即位し、ドイツ帝国が誕生しました。この時期はアメリカの南北戦争や日本の明治維新、イタリアの統一など、世界中で近代国家の形成が進んだ時期にあたります。
問5	答え 1 関税自主権	条約改正は二段階で進みました。まず1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功しました。その後、日露戦争を経て日本の国際的地位が高まった1911年、小村寿太郎がアメリカをはじめとする各国と交渉し、自国で関税率を決定できる「関税自主権」を完全に回復したことで、幕末以来の不平等条約は完全に解消されました。
問6	答え 1 ペリー	江戸時代末期の外交の推移を整理すると、18世紀後半からラクスマンやレザノフといったロシア使節の来航が始まり、幕府は警戒を強めていました。しかし、1853年にアメリカの東インド艦隊司令長官が4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れたことで、幕府はついに開国を迫られることとなります。この時、親書を提出し、翌年の再来航で日本に2港の開港を認めさせたのがペリーです。ハリスは後に日米修好通商条約を締結したアメリカ総領事であり、混同に注意が必要です。
問7	答え 2 反対派の志士や大名を処罰する安政の大獄が行われ、幕府への不満が高まった。	井伊直弼は、条約調印や将軍継嗣問題で対立した吉田松陰らの志士や橋本左内、さらには有力な大名らを厳しく弾圧する「安政の大獄」を行いました。この強硬な姿勢は尊王攘夷派の激しい怒りを買ひ、のちに井伊が暗殺される桜田門外の変へとつながりました。
問8	答え 2 来航した外国船に対し、人道的な見地から燃料や水、食料を与えて退去させることとした。	アヘン戦争で大国である清がイギリスに大敗した事実は、江戸幕府に強い危機感を与えました。イギリスなどの強大な軍事力を持つ列強との直接的な衝突を避けるため、幕府は1825年から続けていた、近づく外国船を無差別に攻撃する「異国船打払令」を緩和しました。こうして1842年に出されたのが、燃料（薪）や水などを与えて穏やかに帰船を促す「薪水給与令（天保の薪水給与令）」です。
問9	答え 1 日米和親条約に基づき、下田（静岡県）と箱館（北海道）が開かれた。	1853年のペリー来航という圧力を受け、翌1854年に締結されたのが日米和親条約です。この条約では、アメリカ船への燃料や食料、水の補給を目的として、下田と箱館の2港を開港することが定められました。1858年に結ばれ、貿易の開始を定めた日米修好通商条約や、鎖国下でも唯一開かれていた長崎と混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 1 遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した	アヘン戦争で大国である清がイギリスの軍事力に圧倒された事実は、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。強力な軍事力を持つ西洋諸国を不用意に刺激して戦争になることを恐れた幕府は、1842年に天保の薪水給与令を出し、それまでの強硬な姿勢から、漂流船などへの人道的な支援を認める方針へと転換しました。
問11	答え 1 開国や大老の暗殺によって揺らいだ幕府の権威を、朝廷と結びつくことで補強し、政治の安定を図るため。	日米修好通商条約の無勅許調印や井伊直弼の暗殺といった事態により、幕府の統治能力に対する不信任が高まっていました。そこで幕府は、当時の権威の象徴であった朝廷から承認や協力を得ることで、幕府中心の政治体制を維持し、幕府打倒を掲げる尊王攘夷派の動きを抑制しようと試みたのがこの政策の背景です。
問12	答え 1 金銀の交換比率の差による金の流出を食い止めるため、それまでの小判よりも金の含有量を大幅に少なくした貨幣である。	幕末の開国にともない、日本と外国の金銀交換比率の差を突いて日本の金が大量に海外へ流出しました。幕府はこの流出を防ぐための苦肉の策として、1860年に金の含有量をそれまでの約3分の1に減らした「万延小判」を発行し、金の価値を国際水準まで引き下げました。これを貨幣改鑄といいます。この政策によって金の流出は収まりましたが、一方で貨幣価値の急落を招き、米や塩といった生活必需品の価格が急騰する物価高騰を招く結果となりました。この経済的な混乱は、当時の人々の生活を苦しめ、幕府への不信任を高めることとなりました。
問13	答え 1 日米和親条約	ペリーの再来航を受けて江戸幕府が締結したこの条約により、長年続いていた「鎖国」が終わりを告げ、日本は開国することとなりました。1858年に締結され、貿易の開始や領事裁判権などを定めた日米修好通商条約とは、時期や内容が異なる点に注意が必要です。